

英国における“ゼロからの出発(ZBR)”によるソーシャルケア改善のアプローチ

○ 福島県立医科大学 医学部 氏名 高橋 秀人 (8634)

田宮 菜奈子 (筑波大学・8815)

キーワード：根拠を用いた福祉，ソーシャルケア，ゼロからの出発(ZBR)

1. 研究目的

本邦において、ソーシャルケアを科学的に取り組む方法が十分に機能していない。本報告は英国でのソーシャルケアに関する新しい取り組みを紹介することを目的とする。

2. 研究の視点および方法

英国のソーシャルケアの現状を(1)なぜ変わったのか、(2)ゼロからの出発プロジェクト(ZBR)、(3)コプロダクションアプローチ、(4)ZBRプロジェクトの結果と現在の4つの観点から述べる。

3. 倫理的配慮

本研究は、ヒトを対象とする研究に関わる各種指針には該当せず、インフォームト Consent、倫理審査の対象となる研究に該当しない。また本報告は H26 年度厚生労働科学研究費補助金（地球規模保健課題解決推進のための開発研究事業（分担）研究報告書の一部を改変したものとなっている。本研究は、研究の全過程、成果の公表において『日本社会福祉学会研究倫理指針』（<http://www.jssw.jp/conf/64/ethics.html>）を順守する。

4. 研究結果

(1) なぜ変わったのか：英国では新しい法律(CareAct2014)により、ケアを受ける側(クライアント)が公的予算にアクセスする権利が保障され、また個人負担に上限が設定された。

これにより英国保健省と地方自治体ソーシャルケアサービス部門ディレクター協会(Association of Directors of Adult Social Services: 以降ADASS)は、独自にデータを解析することができるようになり、医療・ソーシャルケア情報センター(Health and Social Care Information Centre: 以降HSCIC)に、全国の様々なソーシャルケアサービスと財政データの収集を委託した。HSCICはケアの見直しを図るために、また、中央・地方政府が利用者とケアラーに対しより優れたケアを提供するために、新データが必要であると認識した上で、様々な利害関係者とのコプロダクション(co-production)アプローチを通して、新データの形を定め、それらを収集し始めた(「ゼロからの出発”Zero-Based Review” : ZBR」プロジェクト)。

(2) ゼロからの出発プロジェクト(ZBR) : HSCICは主に保健省からの資金により運営されて

おり、地方政府の責任の元に収集されるソーシャルケアサービスに関するデータを、国内全ての地方政府から収集し、データ報告書、結果表示するための指標(Adult Social Care Outcomes Framework: ASCOF)の作成を保健省に代わって行っている。ZBRはこれらのデータ収集法とデータ項目を一新し、SALT(Short and Long Term support)とASCFR(Adult Social Care Finance Return)として知られる新データセットを作成し、これに下記の3つの情報を組み入れた。①脆弱な人々への身体的精神的虐待に対する保護サービス(AVA: Abuse of Vulnerable Adults return), ②知的能力が欠如し自由を剥奪された人々への保護サービス(DoLS: Deprivation of liberty safeguards), ③精神衛生法に基づく保護サービス(The Guardianship under the Mental Health Act 1983, SSDA702 return)。たEQ-CL(Equalities and Classifications framework)として知られる新しいフレームを導入し、人種、宗教、年齢等の主要な属性データを他のデータセットの各々に定期的に反映させることを可能にした。ソーシャルケアに関わる労働者数NMDS-SC(National Minimum Data Set for Social Care)を調査し、今後の改善のためにサービス利用者やケアラーへの調査も行っている。

(3)コプロダクションアプローチ:HSCICスタッフである数値データ分析者に加えて、地方政府からの出向社員、ボランティア、技術的側面からソーシャルケア顧客データベース関連のソフトウェア会社のスタッフなどを加えたワーキンググループに、政策や統計の専門知識を提供し、またプロジェクトで起こる問題に対して、随時専門的なサポートを提供する、という方法で、「保護サービス」、「財政とケアサービス」などの利害関係者の入ったグループが設置され調整も行われた。

(4)ZBRプロジェクトの結果と現在: 保護サービスに関わるグループは既存のAVA, DOLSとSSDA703の変更草案を作成し2013年4月からデータ収集を開始した。当初の計画通りデータ収集が始まり、初年度の結果はHSCICにより公表されている。保護サービスグループは全国保護サービスアウトカム測定のための新データ収集の開発を行っており、ASCOFの一部として取り入れられる予定である。ZBRサービス利用者とケアラーへの調査に大きな変更はなかったが、予防サービスを受ける短期サービス利用者向けの新しい調査を開発する必要性が提案されている。

5. 考察

英国において、ソーシャルケアの見直しが抜本的に見直され、必要に応じた形で改変されていく状況は、本邦の今後を考えた場合に大いに役立つと思われる。英国において、エビデンスに基づくソーシャルケアの見直しの中からZBRプロジェクトという新しいデータ収集の枠組みと、コプロダクションアプローチが育ってきている。本邦の今後のソーシャルケアにおいてこれらの方法は非常に参考になると考える。